

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			規定に基づき行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			1日3名～5名。個別支援が必要な場合は増員している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			当事業所は3階のため、階段を使用。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日、日報として振り返りを記入し、問題点を検討。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			懇談会での意見やアンケートを基に、検討を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在実施していない。方法を検討。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に懇談会を実施し、計画の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームでの活動内容の検討を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者が行いたいことを優先し、日々の活動を決定。固定化しないよう配慮している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々に応じた計画を作成している。常に検討し、支援していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者・学校・相談員と連絡を取り、個々に応じた計画の作成を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			受け入れ前に、当日の利用者及び支援内容の確認をしている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後の打合わせは勤務時間の関係で毎回はしていないが、必要に応じて行っている。振り返りは必ず行い、翌日に打合わせをしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日報などを提出し、研修等の題材としている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			随時、保護者との連絡をとり、懇談会(年2回以上)時に見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校への送迎時や、必要に応じ電話や訪問するなどして、連絡をとっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在のところ事例なし。必要がある場合は保護者・主治医との連携をとる体勢でいる。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者・児童発達支援事業所との情報の共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			随時連絡をとり、必要に応じて助言等を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			放課後児童クラブや児童館との交流はないが、公園に出かけることはあり、障害のない子どもと活動することもある。
㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○				

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			相互が共通の理解を持てるように、話し合いの場を増やしていく。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後は講習会等に参加し、知識を高め、支援を行っていく。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行い、必要のある時は、その都度説明している。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談には、随時対応し助言を行っている。
	③2	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの意見や要望に対して、話し合いの場を設け、対応している。
	③3	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月新聞を発行し、保護者への発信をしている。
	③4	個人情報に十分注意しているか	○			取扱いには、十分に注意している。
	③5	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者には伝えやすい話し方に注意し、確実に伝わったかを確かめるようにしている
	③6	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	実施していない。
	③7	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、職員には研修を行っている。契約時・懇談会で保護者に説明している。
非常時等の対応	③8	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年二回、訓練を実施。
	③9	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の研修を行っている。研修会等があれば積極的に参加。
	④0	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			拘束は安易に行わないように徹底している。行った場合は報告書を作成。又、保護者には状況等の説明を細かく行う。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	④1	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④2	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日報で報告等のあったものについてはヒヤリハットの報告書を作成している。